

コップ1杯の山葡萄の新しい習慣は、 スッキリした目覚めと爽やかな1日のスタートを約束してくれます。



人間の脳は、重量の全臓器の2%ですが、全血液の25%、呼吸での全酸素の20%、さらに、食事から摂取したブドウ糖の25%を消費します。そして、脳の活力となるエネルギー源は、ブドウ糖に限られます。特に現代人は、情報過多の社会の中、脳は休む暇なく活動をしております。人間のカラダは、睡眠中もブドウ糖が多量に失われることから、できるだけ早く補給する必要があります。

ブドウ糖は、体内にすぐに吸収されるエネルギー源ですから、1日のスタートとなる朝に、頭とカラダ、つまり、脳細胞と内臓機能を活性化することができます。「ヤマブドウ・セラピー（山葡萄療法）」とは、朝起きがけと夜寝る前に、胃が空っぽの時に、山葡萄を飲むだけです。

山葡萄の特長は、一般の葡萄とは全く異なり、果実部分の房が大きくなり、房が非常に小さいため、一番搾りの原液は非常に希少です。また、種は大きく、皮も厚いためです。ヤマブドウの見た目は、黒一色で、ジュースとして搾れば、鮮やかな赤。ヤマブドウは品種にもよりますが、濃厚な味とほよよい酸味、うまみとコクがあります。現在流通しているワインは、世界的に酸が少なくなってきたており、その中でコクのある山葡萄は、リンゴ酸や酒石酸、クエン酸が普通品種の数倍もあり、その独特の酸味はワイン通の方でもうなずくものがあります。普通のブドウは、1kgの果実からは約750ml、ワイン1本分ぐらいの果汁が取れますが、ヤマブドウはその果実部分が小さく、皮が厚くて種も大きいので、3kg程度からワイン1本分ぐらいにしかありません。